

経済学部A方式Ⅱ日程・社会学部A方式Ⅱ日程
スポーツ健康学部A方式

3 限 選 択 科 目 (60分)

科 目	ページ	科 目	ページ
政治・経済	2～18	日 本 史	20～35
世 界 史	36～51	地 理	52～60
数 学	62～67		

〈注意事項〉

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないこと。
2. 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
3. 科目の選択は、受験しようとする科目の解答用紙を選択した時点で決定となる。一度選択した科目の変更は一切認めない。
4. 数学は以下の注意事項に従うこと。
 - ・ 解答用紙の所定欄の受験学部を○で囲むこと。
 - ・ 解答はおもて面と裏面の所定の位置に、上下の方向に気をつけて記入すること。
 - ・ 解答を導く途中経過も書くこと。
 - ・ その他、解答用紙に記載された指示にしたがい解答すること(この指示どおりでない場合は採点の対象としない)。
 - ・ 定規、コンパス、電卓の使用は認めない。
5. マークシート解答方法については以下の注意事項を読みなさい。

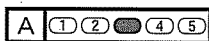
マークシート解答方法についての注意

マークシート解答では、鉛筆でマークしたものを機械が直接読みとって採点する。したがって解答はHBの黒鉛筆でマークすること(万年筆、ボールペン、シャープペンシルなどを使用しないこと)。

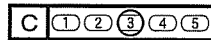
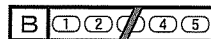
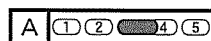
記入上の注意

1. 記入例 解答を3にマークする場合。

(1) 正しいマークの例



(2) 悪いマークの例



枠外にはみださないこと。

○でかこまないこと。

2. 解答を訂正する場合は、消しゴムでよく消してから、あらためてマークすること。
3. 解答用紙をよごしたり、折りまげたりしないこと。
4. 問題に指定された数よりも多くマークしないこと。

6. 問題冊子のページを切り離さないこと。

(地 理)

〔I〕 つぎの文章を読み、以下の問いに答えよ。解答はすべて解答用紙に記せ。

アルプス・ヒマラヤ造山帯は、ユーラシア大陸の南縁部を東西に連なる山脈・高原地帯である。その成因は、^①ユーラシアプレートに対して別のプレートが南方向から衝突したことでありと考えられている。

ユーラシアプレートの西側地域では、アフリカプレートが北上し衝突した。その結果、ピレネー山脈、アルプス山脈、バルカン半島と連なる高山地帯が形成された。これらの高山地帯は地中海世界と深く結びつきその文明圏に組み込まれる一方、そこには、独自性のある比較的小規模な社会が維持されている。

その東隣りの地域では、アラビアプレートの衝突によって、アナトリア高原の東部地域、ザグロス山脈、イラン高原などが形成された。この高原地帯は、古くからユーラシア大陸の東西を結ぶ交通路であるとともに、独特の宗教が生まれ育った地域でもある。

さらにその東隣りでは、インド・オーストラリアプレートが南から衝突して、ヒンドゥークシ山脈、カラコルム山脈、ヒマラヤ山脈が形成され、また、ヒマラヤ山脈の北には、チベット高原が広がっている。

さらには、ユーラシアプレートの東南端部では、インド・オーストラリアプレートとの衝突によって大スンダ列島が形成されている。この地域は海洋諸島であってもはや大陸ではない。そして、大スンダ列島の東端は、環太平洋造山帯と結びつく。

このように、プレートの作用は大地形を形成し、地域の基礎的な条件をかたちづくる。しかしながら、プレートの作用に関しては未知のことが多く、大地形の成因などに関しても十分に明確となっているわけではない。

問1 下線部①は、伝統的にアジアとヨーロッパに分けられてきた。その境界とされる、ロシア国内の南北に伸びる大きな山脈の名称を解答欄に記せ。

- 問2 下線部②の東部に所在する小さな独立国の名称を解答欄に記せ。国名は正式名称でなくてもよい。
- 問3 下線部③の西部にあって、北西から南東方向に伸びる山脈の名称を解答欄に記せ。
- 問4 下線部④の例として、アルプス山脈中に立国しているスイス連邦がある。スイス連邦は26の州(カントン)で構成されているが、課税権を初めとしてそれぞれ強い主権を有しているほか、公用語が4つある。それらの名称を解答欄に記せ。記載の順序は問わない。
- 問5 下線部⑤の北方には、黒海とカスピ海を結ぶ高い山脈がそびえ立ち、その北側はロシアに、南側はジョージアまたはアゼルバイジャンに属している。この山脈の名称を解答欄に記せ。
- 問6 下線部⑥はオアシスをたどっているが、イラン高原のオアシスでは、農業を営むために地下水を導水する施設が建設されている。その名称を解答欄に記せ。
- 問7 下線部⑦の例として、イラン高原では、善悪二元論を特徴とし『アヴェスター』を根本経典とする宗教が生まれたとされている。その名称を解答欄に記せ。
- 問8 下線部⑧の南西側に広がる地方は、高級な毛織物の産地として著名で、観光地としても知られているが、その帰属に関してインドとパキスタンのあいだで争いが続いている。帰属について係争中のこの地方の名称を解答欄に記せ。

地理

問9 下線部⑨にある二つの内陸国の名称を解答欄に記せ。国名は正式名称でなくともよい。また、記載の順序は問わない。

問10 下線部⑩は複数の長大な河川の源流域となっている。そのうち、つぎの河川の名称を解答欄に記せ。

- i) オルドスを経て渤海に至る河川
- ii) チョンチン(重慶)を経て東シナ海に至る河川
- iii) ビエンチャンを経て南シナ海に至る河川

問11 下線部⑪を構成する島々のうち、つぎの島の名称を解答欄に記せ。

- i) マラッカ海峡に面し、大規模な油田がある島
- ii) 居住人口が1億人を超えている島

問12 日本南方の琉球弧は下線部⑫の一部であるが、これは「ユーラシアプレート」と「別のプレート」との衝突によって形成された。この「別のプレート」の名称を解答欄に記せ。

問13 下線部⑬は、主としてプレート運動のような地球内部からの力(内的営力)の作用によって形成される。他方、「小地形」は主として外的営力が作用することによって形成される。そのような外的営力の作用の例を、ひとつ解答欄に記せ。

〔Ⅱ〕 つぎの文章を読み、以下の問いに答えよ。解答はすべて解答用紙に記せ。

世界の都市人口比率は1960年に30%台だったが、2010年には50%を超えた。都市化は世界的な趨勢である。都市人口の増大と都市の拡大に伴って、さまざまな問題が発生する。例えば、住宅や都市施設が無秩序に都市の郊外に拡大する **ア** 現象が起こる。欧米諸国では、旧市街地から高所得者層や若者が郊外に流出し、貧困地区と富裕地区、あるいは民族ごとに居住区が分かれていること⁽¹⁾ も多い。

また、都心部の居住者の減少、建築物の老朽化や高齢化、コミュニティの崩壊などの問題が起こってくる。このため、活性化を目的に再開発が計画される。例えば、ロンドンではテムズ川沿いの港湾地区である **イ** はオフィスビル街に変わった。また、パリでは西部の **ウ** 地区が再開発され、高層ビル群が林立する副都心となった。再開発では建物がリニューアルされることで、比較的裕福な人々が移り住む **エ** という現象が見られることがある。

なお、世界各国の都市は、成立の経緯⁽²⁾や立地条件⁽³⁾など、さまざまな観点から分類することが可能である。

問1 文中の空欄 **ア** ～ **エ** それぞれに該当する語を記せ。

問2 下線部(1)に関して、こうしたすみわけのことを英語で何というか。カタカナで記せ。

地理

問3 下線部(2)に関して、以下のA, Bに該当する都市をつぎのa～tの中からそれぞれ5つずつ選べ。

A 宗教の発祥地や聖地を起源とする都市

B 首都として計画的に作られた都市

- | | |
|-----------|-------------|
| a アテネ | b アブジャ |
| c ヴァラナシ | d ウェリントン |
| e ウランバートル | f エルサレム |
| g オタワ | h キャンベラ |
| i キンシャサ | j ケアンズ |
| k ケソン | l ソルトレークシティ |
| m チュンチョン | n バグダッド |
| o ファドーツ | p ブラジリア |
| q ネーピードー | r ミンスク |
| s メッカ | t ラサ |

問4 下線部(3)に関して、以下のC、Dに該当する都市をつぎのa～tの中からそれぞれ5つずつ選べ。

C 標高2,500m以上に位置する都市

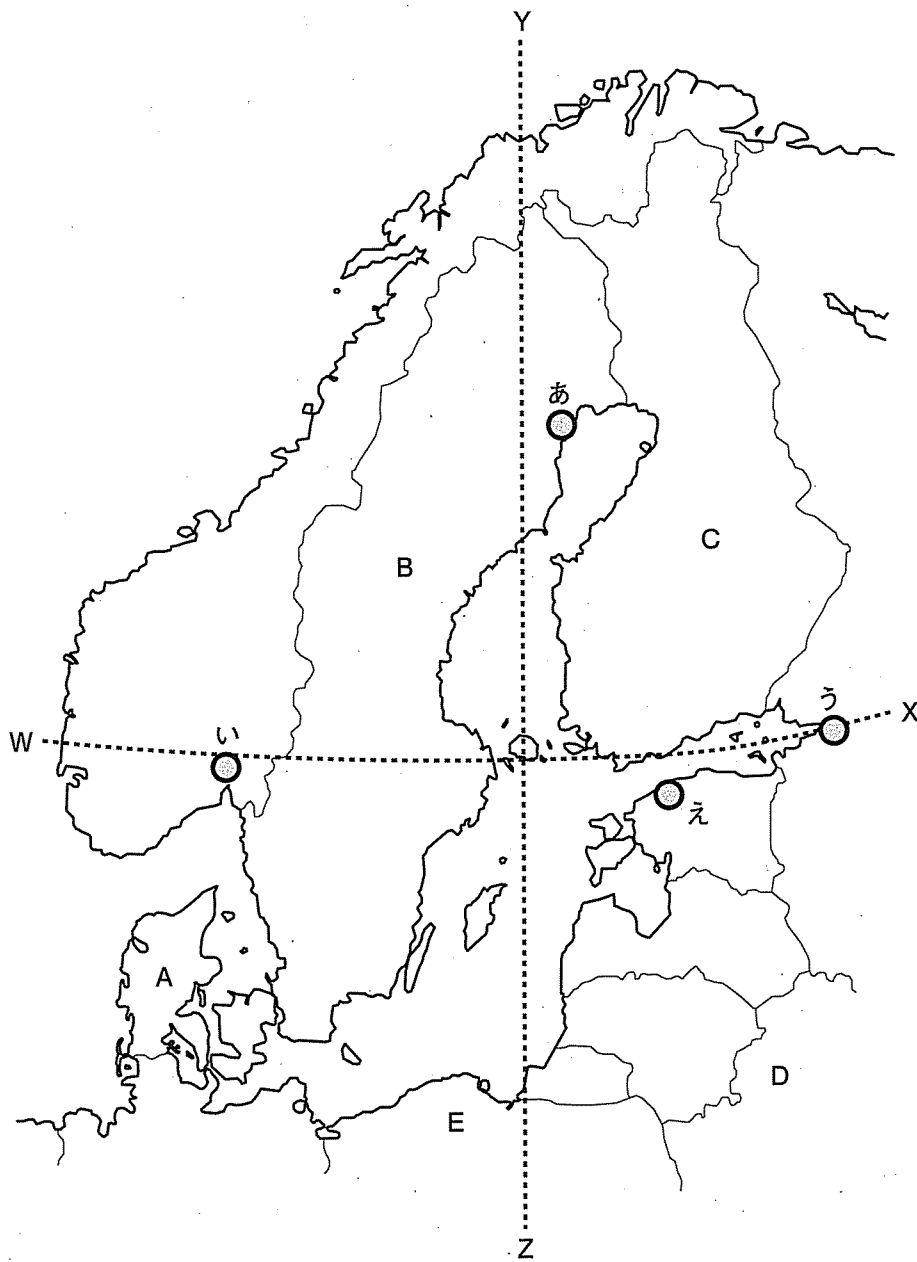
D 国際河川またはその支流沿いに位置し、河口から船で行くことができる

都市

- | | |
|------------|-----------|
| a アスンシオン | b アンタナナリボ |
| c イキトス | d ウランバートル |
| e エカテリンブルク | f キト |
| g クアラルンプール | h クスコ |
| i サンティアゴ | j セントルイス |
| k ナイロビ | l ビシュケク |
| m ビリニュス | n プノンペン |
| o プラハ | p ベオグラード |
| q ボゴタ | r ヨハネスバーグ |
| s ラサ | t ラパス |

地理

〔Ⅲ〕 つぎの地図はヨーロッパの一部を示したものであり、次ページの文章は地図中のA～Eで示した国について述べたものである。地図を見て、以下の問いに答えよ。解答はすべて解答用紙に記せ。



地理

ア国：国土に占める森林面積が約7割であり，大陸氷河の氷食による氷河湖など約7万の湖が点在する。この国は現地語で「湖と沼の国」という意味の (1) と呼ばれる。人口で国内第二の都市 (2) には世界的な通信メーカーの本社がおかれる。

イ国：国土の大部分が低地で，穀物の栽培や酪農が行われている。旧ソ連時代には，国営農場の (3) や集団農場の (4) が農業で大きな役割を果たしていたが，独立後は解体し，企業や組合，個人による農業へと変わった。

ウ国：近代から二度の大戦までたびたび国土が他国によって分割された歴史をもつ。同国の南西部には東ヨーロッパ最大といわれた (5) 炭田が広がっており重工業が発達した。また (6) 麦やえん麦は世界の生産国上位5か国に入る。

エ国： (7) 半島および周辺の島々からなる。国土は氷食の影響でやせ地であり酪農が盛んである。首都がある (8) 島がこの国の中心地域であり，対岸の国とは海峡の真ん中に人工島をつくり，海底トンネルと橋でつながるようになった。

オ国：ヨーロッパ有数の林業国であり，国土面積は約45万km²である。少数民族の (9) 人が主に北部に住んでおり，トナカイの遊牧などを営んでいる。(9) 人が居住している地域は (10) といわれ，隣国にもまたがっている。

問1 各文のア～オはどこの国のことを述べたものか。それぞれに該当する国名と地図中の記号A～Eを解答欄に記せ。

地理

問2 文中の空欄 (1) ～ (10) に当てはまるもっとも適切な語句を下の語群から選び、その記号を解答欄に記入せよ。

[語群]

- | | | | | | |
|---|--------|---|-------|---|--------|
| a | イエーテボリ | b | イヌイット | c | エスポー |
| d | キブツ | e | コラ | f | コルス |
| g | コルホーズ | h | サーミ | i | サウナ |
| j | シェラン | k | シロンスク | l | スオミ |
| m | ソフホーズ | n | 小 | o | ミッドランド |
| p | モシャブ | q | ユーラン | r | ライ |
| s | ラップランド | t | ルール | | |

問3 地図中のあ～えは都市の位置を示している。各都市名を答えよ。また、各都市の特徴について適した説明文を一つずつ選び、その記号を解答欄に記入せよ。

[都市の特徴]

- 1918年までロシアの首都であり、ソ連時代はレニングラードといわれた。
- ヨーロッパにおいて1人あたりGDPが上位にある都市の一つである。
- 内陸部の鉱山から鉄道が敷設されており、鉄鉱石の積出港として発達した。
- バルト海のシリコンバレーといわれるほど、近年IT産業が盛んである。

問4 地図中の緯線WXの緯度を答えよ。また、経線YZが通過しているアフリカの国・地域をつぎの選択肢から選び、その記号を解答欄に記入せよ。

- ① エチオピア ② カメルーン ③ セネガル ④ リビア

(白 紙)